

# 桜の植樹・維持再生のモデル調査事業

## 報告書



御岳渓谷

2009年 3月

美しい多摩川フォーラム

## 桜の植樹・維持再生のモデル調査事業報告書

美しい多摩川フォーラムによる「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」は、多摩川流域の13自治体から構成されている多摩川流域都市協議会からの平成20年度の受託調査事業である。

### 1. 美しい多摩川100年プランにおける位置付け

美しい多摩川フォーラムが、美しい多摩づくりを目指し、長期的展望に立って策定した「美しい多摩川100年プラン」のシンボルプランである“多摩川夢の桜街道プラン”は、多摩川流域に植栽されている各地の“桜”に着目し、これを観光資源としてネットワーク化して、地域経済の活性化に役立てようとするものである。具体的には、多摩川流域に点在する桜の名所を「桜の札所」として八十八カ所選定し、四国八十八カ所巡礼の旅に倣い、「願い事を携えて訪ねる桜の札所・八十八カ所巡り」として観光ルート化し、賑わいの創出による観光振興を図ろうと考えた。

しかしながら、当フォーラムが別途、桜の現況調査を委託した独立行政法人・森林総合研究所多摩森林科学園の調査(平成19年度・第1次調査、20年度・第2次調査)によれば、多摩川流域に植生された桜の樹種のうち約8割が染井吉野であることが判明し、しかも、その樹齢が染井吉野の平均的な寿命とされる60年に近づきつつあることが明らかとなった。このまま放置しておけば、現在、桜の名所であっても、いずれは枯死してしまう危険性があり、せっかくの桜の名所を失うことになる。

当フォーラムでは、こうした事態を憂慮し、将来に亘って桜の名所を維持していくためには、フォーラムとしてどのように対応していくかを、地域づくり運動の立場から考えるべく、このたび「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」を実施することになった。



青梅・釜の淵公園

## 2. 桜の植樹・維持再生のモデル調査事業の考え方

美しい多摩川フォーラムでは、「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」を実施するに当たり、官民広域連携・協働推進という当フォーラムの基本特性を生かし、市民、NPO、企業、行政など幅広く連携・協働して検討を行い、「桜を守り育てる仕組み(桜守)づくり」も展望することとした。具体的には、本モデル調査事業の立ち上げに当たっては、希望する地域主体の応募を前提に、市区町村等自治体と河川管理者の参加を仰ぎ、法規制等について専門的な立場からアドバイスを頂きながら、関係する市民やNPO、企業とイコール・パートナーとして連携・協議し、「課題の抽出と解決」に向けて議論を深め、今後の桜の植樹・維持再生のモデル事業化を試みることとした。

### 3. 桜の植樹・維持再生のモデル調査事業の公募と対象先の選定

当フォーラムでは、平成20年7月18日付で、「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業の公募について」とのタイトルで、マスコミ向けにニュース・リリース(資料1)を配信すると共に、当フォーラムが運営する公式ホームページにも、同内容のものを掲載・公表した。応募要領のポイントは次の4点。①対象地域は多摩川流域周辺(多摩川及び同水系)、②対象者は多摩川流域周辺居住者、団体、事業者、自治体等、③公募予定先数は3ヵ所程度、④公募期間は8月末まで、⑤課題の抽出と解決が前提であり、桜の植樹を保証するものではないこと。

公募については、羽村市、狛江市、八王子市、青梅市の4市から応募があり、この4市を対象先に選定した。各市とも、桜の植樹先・維持再生先については、予めある程度想定していたこともあり、まず平成20年度内実施事業として実施の可能性について予備調査・検討を開始した。結論を先取りすると、青梅市以外の3市については、年度内の実施が困難なハードル・事情があり、次年度以降に先送りせざるを得なかった。この点については、「桜の植樹・維持再生モデルの調査事業の検討経緯」(資料2)として要約したので、そちらを参照されたい。一方、青梅市については、幾つかの問題点や課題があったものの、それぞれに解決の道筋がついたので、青梅市の案件をモデル調査事業として認定し、事業の実施経緯を以下に詳述する。

平成 20 年 8 月 6 日発行 日本経済新聞

## ◆多摩川夢の桜街道プロジェクト事業公募

## 4. 青梅市におけるモデル調査事業の実施経緯(その1)

青梅市内では、釜の淵地区、御岳地区、河辺地区が桜の植樹地域として、景観保護の観点から見て相応しいと認識された。すなわち、3地区とも既に桜が植栽され、桜並木の景観を有しており、特に釜の淵地区、御岳地区は観光面から見ても、相応の機能を発揮してきた。ただ、近年台風や大雨などにより、御岳地区の桜木が増水により流出するなど、本来の景観がやや損なわれつつあり、これが今後の課題として認識された。

こうした状況下、当フォーラムでは、桜の植樹先とは別に、平成20年度当初より東京都の「企業の森制度」に基づく「美しい多摩川フォーラムの森」の設定に向けて、東京都農林水産振興財団様と共に適地を探していたところ、御岳地区において多摩川に面した有望な場所があることが分かり、土地を所有していた山主様のご理解を得て調査を実施した。最終的には、傾斜地であるうえ、伐採した杉や檜の搬出道路が確保出来ないといった理由から見送りとなつたが、当フォーラム事務局では、その土地のロケーションが大変魅力的であったことから、これをむしろ「桜の植樹・維持再生モデル調査事業」用地とするべく、関係先に働きかけた。平成20年12月、当フォーラム事務局のほかに、民間から藤崎・勝仙閣社長(御岳観光協会会長)や特定非営利活動法人「緑の大地会」が加わる一方、行政からは青梅市(都市開発部、環境経済部)のほか、河川管理の立場から東京都建設局西多摩建設事務所が助言する体制が整い、モデル調査事業の実施に向けて大きく前進した。

## 5. 青梅市におけるモデル調査事業の実施経緯(その2)

青梅市御岳地区でのモデル調査事業の検討過程において課題となったのは次の5点。①多摩川の上流域では川幅が狭く、土手の外側に桜を植樹するスペースを公有地としては確保出来ないこと、②民有地を利用する際の河川と民有地の境界線の問題(川の氾濫等により境界線が不明確となっていること)、③民有地に桜を植樹する場合の契約上の問題、④植樹した桜の成育状況の管理(地域の「桜守」の必要性)、⑤植樹する桜の樹種の選定。これらについて、①は構造上の問題として甘受せざるを得ないこと、②は河川管理者である西多摩建設事務所に実地検分して頂き、河川に面して植栽されている杉の位置より内側に桜を植樹すること、③は山主様が当フォーラムの趣旨にご理解を頂き、当該土地について「無償使用許諾契約」を締結して頂けたこと、④は当フォーラムの事務局が青梅市に所在する(青梅信用金庫地域貢献部内)ことから、当面は当フォーラム事務局が「桜守」として主体的に関わっていくこと、⑤は成長が早く一斉に開花し寿命の比較的短い染井吉野は避け、御岳に自生する山桜を選定すること、などにより課題をクリアーした。以上の点については、平成21年1月28日に開催された当フォーラムの運営委員会にて検討経緯という形で報告された承された。

## 6. 青梅市におけるモデル調査事業の実施経緯（その3）

桜の植樹の適期は2月～3月ということもあり、今回の報告書作成のタイミングを考慮し、桜の植樹は2月25日(水)、記念植樹式を同28日(土)に決定した。ここから逆算して、桜の植樹スケジュールを確定し、2月3日(火)から6日(金)にかけて、緑の大地会が杉の間伐や枝落し等を実施した。この間、5日(木)には、西多摩建設事務所の立会いのもとで、河川との境界線の状況を確認した。また、21日(土)には、河川と民地の境界線に近い部分の傾斜地の整地も行い、安全性にも配慮した。25日には JA 東京植木が山桜15本の植樹を実施したが、このうち5本は高さ7～8メートル（花芽付き）、残りの10本は高さ2メートルほどの苗木である。

### 美しい多摩川フォーラム「御岳の森」における桜の植樹スケジュール

平成21年1月24日(土)	○山林所有者の現地立ち会いによる状況調査 (伐採してよい木の調査、境界線の確認等)
1月29日(木)	○伐採等を行うNPO（緑の大地会）と現地打ち合わせ
2月3日(火)～6日(金)	○伐採を開始（杉や桧の枝落し、間伐材の整理等）
5日(木)	○河川との境界線の状況確認 (東京都西多摩建設事務所河川課が立ち会い) ○山桜の植樹場所の確定（15本） ○伐採後の根の除去（山桜の植樹場所） ○河川との境界線に杭の打ち込みと土留めを実施
21日(土)	○河川と民地の境界線付近の傾斜地の整地を実施
25日(水)	○山桜15本を植樹（JA 東京植木）
28日(土)	○山桜の記念植樹式

▼ 伐採・間伐材の整理・枝落し・土留めの実施状況



「御岳の森」の全景



伐採開始



伐採状況



河川との境界線の状況確認（東京都西多摩建設事務所河川課）



間伐材の整理(1)



間伐材の整理(2)



杉や桧の枝落し(1)



杉や桧の枝落し(2)



枝落し後の状況



山桜のメイン植樹地



河川との境界線周辺の土留めの状況(1)



河川との境界線周辺の土留めの状況(2)

## ▼ 山桜の搬入・植樹の実施状況



山桜15本の搬入(1)



山桜15本の搬入(2)



ユンボのショベルで植樹用の穴を掘る



ユンボの助けを借りて山桜を植樹



植樹された山桜をロープで支える



記念植樹式を待つばかりの「御岳の森」

## 7. 山桜の記念植樹式の模様（平成21年2月28日）



美しい多摩川フォーラム 森田副会長によるご挨拶

美しい多摩川フォーラムの副会長を務めております森田でございます。  
本日はお忙しいところ、また、お足元も悪い中、竹内・青梅市長様をはじめ、このようにたくさんの方にお越し頂きまして、誠に有り難うございます。厚く御礼申し上げます。

美しい多摩川フォーラムが平成19年7月に設立されまして、ほぼ1年半が経過したところでございますが、この間、経済、環境、教育文化を3本柱に、多摩の地域づくりを皆で議論し、実践して参りました。中でも、経済軸で検討された「多摩川夢の桜街道プラン」につきましては、フォーラムの基本計画である「美しい多摩川100年プラン」のシンボルプランとして位置付けられ、東京都の13自治体で構成されている多摩川流域都市協議会様からも、大いにご支援を頂いているところであります。

本日の多摩川流域・御岳地区の桜の植樹につきましては、「多摩川夢の桜街道プラン」の一環で、多摩川流域都市協議会から、「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」として受託し、その第1号案件として、青梅市、東京都西多摩建設事務所、NPO、市民等の広域連携・協働によって進められて來たものであります。とりわけ、NPO 緑の大地会様の献身的な準備作業によりまして、3日前の25日（水）に山桜の植樹作業を終え、この日の記念植樹式を迎えたところでございます。

この御岳の土地は、ご覧のように、目の前が多摩川、隣接地が奥多摩フィッティングセンター、対岸には染井吉野が咲き、山の中腹を青梅線が縫うように走る、大変素晴らしいロケーションが広がっております。その杉板の1枚看板にありますように、私どもは、この地を美しい多摩川フォーラム「御岳の森」と名付けました。春の桜を楽しむだけでなく、夏には子供たちのカヤック体験や鱒のつかみ取り、秋には炭焼き体験も考えておりまして、1年を通して、大人だけでなく、子供も楽しみながら、環境を学ぶフィールドとして、いろいろ夢を膨らませているところであります。事務局に聞いたところ、大きな山桜の方は花芽があり、あと一月ほどもすると咲き始めるとのことです。この桜がいつか御岳の観光振興に貢献することを願っております。

本日の植樹式には、地元の未来を担う二俣尾保育園の園児さんと親御さんも参加されています。後ほど、皆さんには、それぞれの夢や期待を込めながら、桜木に土をかけて頂ければと存じます。本日お越しの皆様に心より感謝を申し上げ、開会のご挨拶とさせて頂きたいと思います。本日は誠に有り難うございます。

### 記念植樹風景



青梅市 竹内市長様  
東京都建設局西多摩建設事務所 宮本管理課長様



森田副会長

<未来を担う子どもたちも一緒に>



二俣尾保育園の園児さん



未来の桜守もニッコリ



竹内市長、宮本課長を囲んで記念撮影



東京都森林組合長 小峰幸憲様による閉会のご挨拶



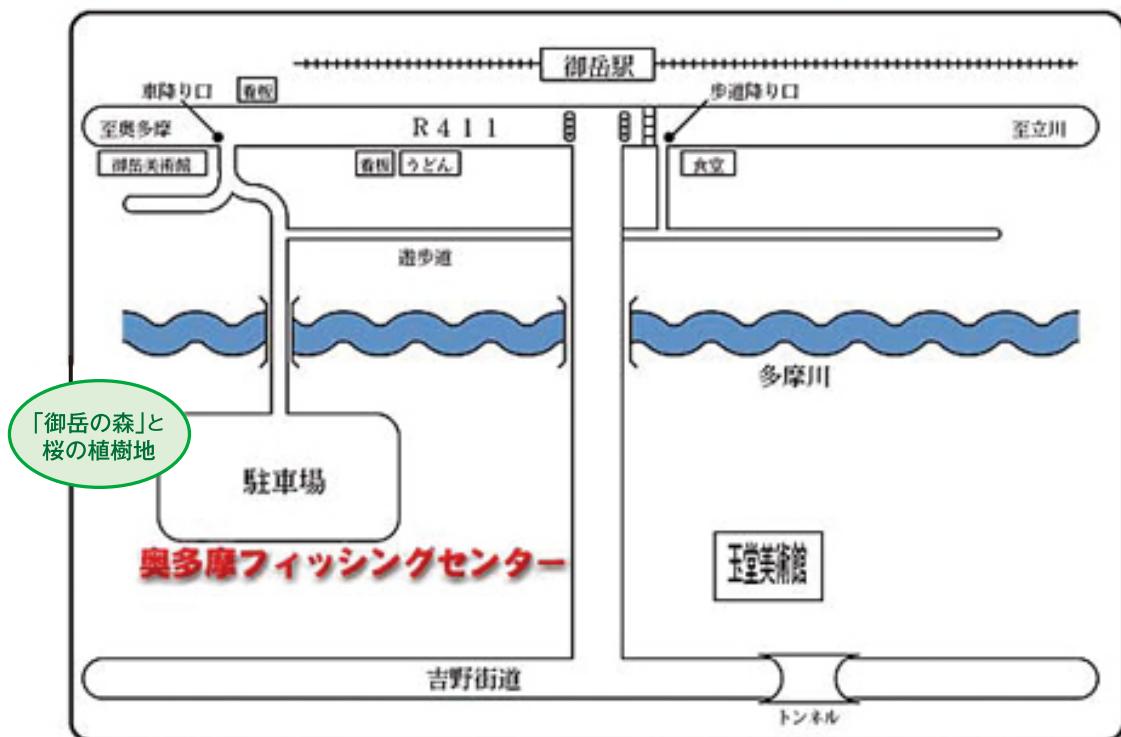
植樹されたメインの山桜をバックに  
美しい多摩川フォーラム「御岳の森」の大看板がまぶしい

## 8. 今後の展望

当フォーラムでは、今回の青梅市御岳地区での「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」については、官民連携・協働推進のもと、桜の植樹・維持再生事業の基礎を概ね築いたとみている。

今後も、“多摩川夢の桜街道”を形成する各地の桜が息長く成長していくために、当フォーラムとしては、このモデル調査事業で培ったノウハウを拡充し、「夢の桜街道」が真に観光資源として持続するよう努めてまいりたい。また、美しい多摩川フォーラム「御岳の森」と命名されているとおり、今後は間伐や下草刈りも体験しながら、「桜守」として若木の山桜の成長や森全体の環境を見守っていくつもりである。平成21年度には、炭焼きの技術を有しているNPO(日本工コクラブ)の協力を得ながら、当地にドラム缶窯の炭焼き施設を設置し、子どもたちと一緒に竹炭を作る計画もあり、環境軸での更なる展開を展望している。さらに、「御岳の森」の近くには、奥多摩フィッシングセンターがあり、子どもによる魚の掴み取り体験が出来るほか、カワセミなど水辺の野鳥観察といった生きた学習が出来るなど、未来を担う子どもたちに、身近なところで生態系や環境の大切さを学ぶ機会を提供したいと考えている。このように考えると、「御岳の森」は、当フォーラムの運動の柱である「経済、環境、教育文化」の3つの観点から、フォーラムの実践運動の真髄を体感できるフィールドになるものと期待される。

「御岳の森」と桜の植樹地の案内図



## 桜の植樹・維持再生のモデル調査事業の公募について ～ 多摩川夢の桜街道プランのモデル事業 ～

- 「美しい多摩川フォーラム」は、昨年 7 月、“多摩川”をシンボルに地域の活性化と自立を目指し、官民連携・協働により設立されたもので、経済、環境、教育文化を運動の 3 本柱として、多摩圏民を主役に「美しい多摩づくり運動」を展開しております。本年 5 月には、当フォーラムの基本プランとして、「美しい多摩川 100 年プラン」を策定し、その中で、地域経済の活性化を目指して、「多摩川夢の桜街道プラン」を提唱しております。
- 「多摩川夢の桜街道プラン」とは、多摩川流域周辺に点在する美しい桜並木や一本桜に改めてスポットを当て、これらを「夢の桜街道」として組織的・有機的に結び付けることにより、「多摩川ブランド」として観光まちづくりに生かしていくこうとするものです。「夢の桜街道」に内外から人々が集まることで賑わいが生まれ、ビジネスが育ち、地域に活力が生まれていくのです（当フォーラムでは、今年 9 月までに、「多摩川夢の桜街道～51 カ所の桜の名所めぐり」の観光サイトを立ち上げる予定です）。
- こうした目的をもって、当フォーラムでは、多摩川流域周辺に、地域づくりのための桜守を組織し、新たに桜を植樹することにより、将来の桜の名所に育てていくために、「多摩川夢の桜街道」のモデル事業を公募します。また、新たに桜を植樹するだけでなく、現在ある桜の名所を維持・再生していくためのモデル事業も公募します。そのために、モデル事業の立ち上げに当たって、応募地域の自治体や河川管理者等の参加を仰いでいくとともに、関係する個人、団体、企業等とイコール・パートナーとして連携・協議し、課題の抽出と解決まで議論を重ねて参ります。こうした検討のプロセスを通じて合意に達した場合、平成 20 年度の「桜の植樹・維持再生のモデル調査事業」として実施します。応募要項は下記のとおりです。

### 記

1. 公募対象地域：多摩川流域周辺（多摩川本川および水系）
2. 公募対象者：多摩川流域周辺の居住者、団体、事業者、自治体等
3. 公募予定先数：3 カ所程度
4. 公募期間：平成 20 年 7 月 18 日（金）～同年 8 月 29 日（金）
5. お問合せ先：美しい多摩川フォーラム事務局（青梅信用金庫地域貢献部内）  
TEL. 0428-24-5632 FAX. 0428-24-4646

（注 1）桜の植樹の場合、「その地域にふさわしい桜」の観点でも議論致します。

（注 2）このモデル調査事業は、課題の抽出と解決が前提であり、桜の植樹・維持再生事業等の実施を必ずしも保証するものではありません。

（注 3）このモデル調査事業は、多摩川流域都市協議会（13 自治体で構成）からの平成 20 年度受託事業であり、事業計画に基づき事業支援するものです。

## 資料 2

### 桜の植樹・維持再生のモデル調査事業の検討経緯等

八王子市産業振興部

#### 1. 応募当初の考え方

八王子市においては、市の紹介により多摩の名勝滝山古城跡の自然・環境保全と適正な維持管理を支援するとともに観光客誘致のためのPR活動等を行うことを目的に八王子市の地元市民を主に結成された「滝山城跡文化協会」が指定を受け、事業に着手する予定であった。

#### 2. 検討の経緯

平成20年度の桜の維持再生作業については、平成20年11月より21年2月まで八王子市の事業として、桜の手入れのために枯木の除去、剪定、天狗巣病対策等を行っていたため、並行して実施することが不可能となつた。また、桜の植栽事業についても予定地が東京都用地だった為に調整に時日を要し、年度内の事業執行が困難になつた。

#### 3. 結論

検討の経緯にあるとおり、止むを得ない理由であることから、本事業の20年度の実施は見送ることとなつた。ただ、市民団体である滝山城跡文化協会が桜の維持管理等を行っていく意志が強いことから、本件は改めて平成21年度に対応する方針。

## 狛江市企画財政部政策室

### 1. 応募当初の考え方

狛江市においては、調布都市計画道路3・4・17号線の側道残地部分への桜の植樹について応募した。

### 2. 検討の経緯

現在、この道路については、東京都管轄の道路であり、従前に引き続き、早期完成を東京都に要請しているところであるが、未だ完成には至っていない。側道残地部分の利用方法についても、狛江市の意見を付すべく、現在、市民参加による委員会で検討を行っているが、最終的に東京都が決定することになるため、当面は東京都の動向を見守ることとした。

### 3. 結論

検討経緯にあるとおり、東京都の事情もあることから、本事業の20年度の実施は見送ることとし、本件は、改めて平成21年度に対応する方針。

## 羽村市産業環境部産業活性化推進室

### 1. 応募当初の考え方

羽村堰の桜（ソメイヨシノ）の今後のあり方については、羽村市としても憂慮すべき部分が多くあるとの認識のもと、「桜の植樹・維持再生のモデル事業」に応募した。その後、美しい多摩川フォーラムから、ご提案があったように、まずは阿蘇神社周辺の土手における桜の植栽、フォーラムの開催などを実施する方向で調整していた。

### 2. 検討の経緯

桜の植栽地（羽村堰）が東京都水道局の所有・管理であるため、東京都水道局水源林管理事務所を訪ね、桜に対する考え方を確認したところ、「羽村堰の桜については、現在、東京都で枝の伐採などの維持管理を行っており、桜の保存状態は水道局が他に管理している奥多摩湖畔や村山貯水池に比べればよい状態にあるので、しばらくは通常の管理を行っていけばよいと判断している。また、今後、桜の衰退が見られる場合には、水道局内で検討する必要があると考えている。」とのことだった。

東京都水道局の上記判断を受け、現時点では、羽村市としても早急な対応をする必要がないとの考えに至り、しばらくは東京都水道局の動向を見守ることとした。

### 3. 結論

検討経緯にあるとおり、東京都水道局の事情もあることから、本事業の20年度の実施は見送ることとなった。

## 西多摩新聞 3月6日掲載記事

御岳の森が完成 美しい多摩川  
園児らが記念植樹 美しい多摩川  
美しい多摩川フーラーた、都内13自治体で  
ム（篠塚英子会長）は2月28日、「御岳の森」の  
完成とサクラの記念植樹式を行なった。都内13自治体で  
される多摩川流域都議会の「桜の植樹」と  
再生のためのモデル事業を受託したこの  
事業は、第1号として、御岳の森を設  
立した。同日は同フーラーた。  
さくらの名所の中から88  
ほど、多摩川流域にある  
か所を選定した「多摩川  
川で開催した。  
同フォーラムではこの  
事案を公表。ま



植樹したサクラは今月末には花が咲くという

地元企業関係者ら約20人  
のほか、近隣の「侯尾保  
育園園児たちも参加。来  
賓として出席した竹内俊  
夫青梅市長は、「サクラ  
市協は日本を代表する花。た  
だ楽しむだけでは将来へ  
はつながらない。しかか  
り手入れするのが私たち  
の務め。地域がサクラで  
いっぱいになりますよ  
う」とあいづついた。  
同フォーラムでは4月  
に「多摩川夢の桜街道」  
開通記念として、ハイキ  
ンクやサクラの札所巡り  
調査  
とも  
維持  
市協  
だ楽しむだけでは将来へ  
はつながらない。しかか  
り手入れするのが私たち  
の務め。地域がサクラで  
いっぱいになりますよ  
う」とあいづついた。  
詳しい内容はホームページ  
一覧 (<http://www.tama-river.jp>) をお  
は、同フォーラム事務局  
(04288・24・5633)  
2)。  
く。

詳  
語  
の  
文  
化  
部  
一  
般  
(http://www.  
tama-river.jp) 並  
びに  
回フオーラ事務局  
(042000・24・10003  
②) <

## 多摩川フォーラムが植樹式

# 「夢の桜街道」開通

青梅信金が事務局 記念イベントも



多摩川流域の御岳の森  
で植樹する森田理事長

した桜の維持・再生事業。森に15木を植樹。植樹式には森田理事長(フォーラム副会長)、竹内俊夫・青梅市長ら35人が出席した。同フォーラムは多摩川流域の活性化を目指す官民連携の運動団体として07年7月に設立。同信金地域貢献部内に事務局を置き活動を開始。08年5月には活動指針「美しい多摩川」を策定。具体的が「夢の桜街」道八十八カ所巡り」、「桜の名所を札所の巡礼」のように訪ねる観光ルートの提案。フォーラムは51カ所を選定。桜街道の観光サイトで残る37カ所を08年10・12月に公募。09年2月に88カ所が決まった。桜街道開通記念で4月にJR東日本・西武鉄道・多摩モノレールと共に催で「玉川上水散策」と多摩川夢の桜街道」、大田区・大田園遊会と共同で「大田区の桜の札所巡り」、「オーラム単独主催の桜の札所巡り」、「青梅・奥多摩・あきの野の桜の札所巡り」を企画。桜の札所スケッチ原画展・フォトコンテスト作品展(青梅市立美術館)も催す。

## **桜の植樹・維持再生のモデル調査事業報告書**

平成21年3月発行

発行者 美しい多摩川フォーラム  
責任編集 宮坂 不二生(美しい多摩川フォーラム事務局長)

---

〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地  
青梅信用金庫 地域貢献部内

TEL : 0428-24-5632  
FAX : 0428-24-4646  
E-mail : [forum@tama-river.jp](mailto:forum@tama-river.jp)  
URL : <http://www.tama-river.jp>